

6-4 4/6時の指導計画

(1) 目 標

自分の立場や意見が相手に伝わるように、根拠を明らかにして意見文を書こうとする。

(2) 展 開 ※ 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を確かめる。	学習計画 表	○前時に学んだことを2～ 3名に発表させる。 ◆前時の学習活動において 「十分満足できる」状況 (A)にあった生徒の記 述を紹介し、根拠と反論 は比較できる観点として 「共通性」をもたせるこ とでまとまりのある意見 文とすることができるこ とについて理解を深めさ せる。 ○本時の目標を斉読によっ て確認させる。	
	自分の立場や意見が相手に伝わるように、根拠を明らかにして意見文を書こう			
展 開	2 教科書の「意見文の例」 を読み、振り返りシート の《推敲の観点》と照らし合 わせて、意見文の書き方を 確かめる。	振り返り シート ワークシ ート④	◆教科書P175にある「意見 文の例」を電子黒板に提 示し、振り返りシート の《推敲の観点》と照らし 合わせて「意見文の例」 にマーキングをする。	
	3 テーマを決めて、根拠を 吟味し、具体例や予想され る反論などの構成を工夫す る。 〔手順〕 1) 手順を確かめる。 2) テーマを決める。	ワークシ ート④ テーマ一 覧	○これまでの学習を想起さ せながら確かめさせる。 ○テーマ一覧から、自分が 書きやすいと思うテーマ を選ばせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【関①】自分の立場や意見 が相手に伝わるよう に、根拠を明らかにして 意見文を書こうとしてい る。【観察】 【ワークシート④】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分の立場や意見を決め るために根拠を列挙し、そ の中から自分の意見を支 える根拠を選び、反論を考</p> </div>

展 開	<p>3) 賛成と反対のそれぞれの根拠を列挙して立場を決める。</p> <p>4) 根拠を吟味して明らかにする。</p> <p>5) 予想される反論とそれに対する意見を考える。</p> <p>6) 構成を考えて下書きの見当を付ける。</p>	ワークシート④	<p>○前時までの学習で根拠を列挙して立場を決めたことを想起させる。</p> <p>○採用する根拠に順番を付けさせる。</p> <p>○根拠と予想される反論は、関連のあるものにすることを留意させる。</p>	<p>るなどして意見文を書こうとしている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p>
	<p>4 構成表を読み返し、分かりやすい構成になっているか考える。 [手順]</p> <p>1) 自分で読み返す。</p> <p>2) ペアで交換して読み合う。</p> <p>3) 気が付いたことをアドバイスし合う。</p>	原稿用紙 学習の手引き「読むこと」⑤ 「文章の構成に強くなるう！」	<p>○600字程度の意見文を書くためには、構成表の6つの項目を何字程度で書けばよいのか見当を付けさせる。</p> <p>○根拠を述べる順番や、予想される反論と意見との関連などについて分かりやすくなっているかどうかを気付けて読み返すよう注意を促す。</p>	<p>ペアやグループで学習に取り組みさせて考えを促し、自分で意見文を書こうという意欲をもたせる。</p>
まとめ	<p>5 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。また、次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	学習計画表	<p>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るように促す。</p> <p>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</p> <p>○次時は、意見文を下書きし、互いに推敲し合うことを確認する。</p>	